

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成16年度～			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	01 子育て支援
事務事業名			09 放課後児童クラブ事業
根拠法令・規程等			放課後児童健全育成等実施要綱
問			担当課(室) ことども課
合			職・氏名 子育て支援係長 岡本洋子
先			電話 0869-64-1853

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	放課後の保育に欠ける小学生1年生から3年生の児童
目 的 (何のために)	保護者の就労により放課後の保育に欠ける小学生低学年の児童の健全育成を図る。
行 政 活 動 (どのような方法で)	事業を各放課後児童クラブ運営委員会に委託し、小学校の空き教室等利用して対象児童の保育をする。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	放課後の家庭教育に欠ける児童が安全に家庭的な雰囲気の中で過ごすことができ健やかな環境ができる。

事業の実績					
実 施 項 目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
クラブ開設数	箇所	10	10	11	
長期休業日開設数	箇所	7	7	9	
利用児童数	人	155	180	180	
施設維持補修箇所	箇所	4	0	1	

事業費					
直接事業費	千円	15,510	14,483	13,772	
必要人員人件費		0.65人	0.29人	0.27人	
事業費計	千円	20,210	16,572	16,041	
国 県 支 出 金 担 当		6352	8188	7442	
受 益 者 負 担 金					
経 入 金 債	千円				
市 債					
そ の 他 ( )					
一 般 財 源		13,858	8,384	8,599	
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標					
結果指標名	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
クラブ開設数	説明				
結 果 指 標 量	箇所	10	10	11	
対 前 年 比	%	-	100.0%	110.0%	
活 動 コ ス ト	円	20,210,000	16,572,000	16,341,000	
単 位 当 たり コ ス ト	円	2,021,000	1,657,200	1,485,545	
利用児童数	説明				
結 果 指 標 量	人	155	180	184	
対 前 年 比	%	-	116.1%	102.2%	
活 動 コ ス ト	円	20,210,000	16,572,000	16,341,000	
単 位 当 たり コ ス ト	円	130,387	92,067	88,810	

事業の成果					
成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
クラブ開設数	目標値 (A)	10	10	11	11
	実績値 (B)	7	7	9	到達目標年度
	達成率 (B/A)	0.7	0.7	0.81	22年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
クラブ開設数					

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> <b>C</b> 判定理由・課題認識 市民ニーズがあり、放課後児童の安全確保や仕事と子育ての両立を支援するうえで必要な事業である。また、開設日数の増加により開設が困難なクラブができる可能性がある。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
	効率性の評価	コ ス ト <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> <b>C</b> 判定理由・課題認識 運営委員会に事業を委託することにより、統一の実施方法でなく市民ニーズに応じて地域の実情にあった開設ができる。
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識 保護者や主任児童委員等、地域の関係者が運営委員会に参加していただくことより、地域の特性を生かし、実情にあった実施ができればよくなる。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	11	結果指標量②	184	成果指標量	11
状 況	拡充		現状継続		見直し	○
縮小					整理統合	
休止					休止	
廃止・完了					廃止・完了	
説 明	委託料の算出方法について見直しを行った見直しを行う中で保護者負担金のクラブ間での格差がないよう説明する。					

総合評価	
今後も地域のニーズに応じた開設が必要、開設場所の多くは、小学校であり(7クラブ)諸課題の解決に、教育委員会の協議が必要になる。また、利用者(小学校児童)であるので教育委員会の積極的な関与が必要と考えられる。また教育委員会主導して実施する「放課後児童ことどもプラン」の実施について検討する必要がある。	評価区分 <A~E> <b>C</b> 

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充		現状継続		見直し	○
縮小					整理統合	
休止					休止	
廃止・完了					廃止・完了	
説 明	長期休業日の開設日数が補助要件を満たすためには、250日以上以上の開設が必要となり、11クラブ全部が開設が可能になるよう、地域の実情にあった開設が必要となる。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
妥当性		全放課後児童を対象とした総合的な放課後児童クラブ事業に向けて教育委員会と連携を図っていく必要がある。	平成21年度	放課後におけるすべての児童の健全で健やかな成長を支援することができる。		